

狭山ヶ丘分館 図書館だより

2022
夏号



星座のおりがみは『カミキイの「気持ち伝わり」』
贈り物おりがみ』を参考に職員が作りました。

狭山ヶ丘分館児童イベントのお知らせ

※感染症対策のため、状況により中止する場合がございます。

「こわいおはなし会」

夏にピッタリの、ちょっぴりこわいお話はいかがですか。

■7月23日(土) 午後3時10分から ■対象：ひとりでおはなしがきける子・マスクができる子

■場所：狭山ヶ丘コミュニティセンター2階 第1・第2集会室 ■定員：15名(事前申込制)

7月9日(土) 午前9時30分より狭山ヶ丘分館カウンター又はお電話で受付開始。

「夏休み工作会」(道具や材料は図書館が用意します。)

カラフルスライムであそぼう!当日は汚れてもいい服装でお越しください。

■8月20日(土) 午後1時30分から ■対象：5歳以上(7歳以下は保護者同伴)

■場所：狭山ヶ丘コミュニティセンター2階 調理室 ■定員：8名(事前申込制)

8月6日(土) 午前9時30分より狭山ヶ丘分館カウンター又はお電話で受付開始。



こんなことしました。

令和4年春(4~6月)

「図書館クイズスタンプラリー」

開催：4月19日(火)～5月24日(火) 参加者：子ども118名

こどもの読書週間(4月23日～5月14日)にちなんで、図書館クイズスタンプラリーを実施しました。図書館の本を読んで答える問題、図書館のイメージキャラクターに関する問題、絵を描く問題、図書館内を探して答えを見つけるなど色々な種類の問題が出題された用紙を「やさしいもんだい」と「むずかしい問題」の2種類用意しました。

クイズに正解するとスタンプを押してもらえ、全問正解すると狭山ヶ丘分館の図書館マスター『さやマスター』となれます。

またスタンプラリー達成のプレゼントとして、ガチャガチャ機をまわし、図書館員手づくりのさあやちゃんプラ板キーホルダー、おりがみブレスレット、ペン立て、などがもらえました。週末を中心にたくさん子どもたちが挑戦してくれました!



「春の読書の木」を实らせよう!

開催：4月1日(金)～5月24日(火) 参加者：子ども43名

今年もエレベーターホール前の窓に読書の木を掲示し、葉っぱの形に切った折り紙におすすめの本を書いてもらいました。

たくさん子どもたちが自分のお気に入りの本を書いて「はっぱポスト」に投函してくれたので、読書の木が賑やかに彩られました。

また、今回は実施期間後に子どもたちがおすすめしてくれた本のミニ展示をしたところ、来館された方々が足を止めて見ててくださいました。子どもにとっても大人にとっても、大好きな本、懐かしい本、そしてまだ読んだことのない本など、色々と見つかったのではないのでしょうか。

参加して下さった皆様、ありがとうございました。



「図書館男子のおはなし会」

開催：4月30日（土）

参加者：おとな3名 こども6名



男性職員によるおはなし会を行いました。普段のおはなし会と少し違った雰囲気の中、絵本の世界を楽しんでもらいました。

工作では、新聞紙でかぶと作りに挑戦！折り目に沿って折っていき、最後に好きな色のひもを付けると完成です。作ったばかりのかぶとを嬉しそうにかぶっている姿が印象的でした！図書館での春の思い出が、また一つ増え、大満足のイベントとなりました。

「ブックトークに行ってきました」

訪問先：6月1日（水）若狭小学校 / 6月8日（水）宮前小学校 / 6月22日（水）林小学校

所沢図書館では、小学校3年生の全学級を対象に図書館職員が小学校を訪問して「ブックトーク」を行っています。ブックトークとは、1つのテーマに沿った複数の本を紹介していくというものです。今年度も狭山ヶ丘分館は「チェンジ！」をテーマにブックトークを行いました。金や銀のランプに変わるおばけの話、いたずらを反省し木こりのお手伝いを一生懸命する、ちいさなあくまの話など、子どもたちに楽しんでもらえるよう内容に気を付けながら、それぞれ要点をкаいつまんで紹介します。牛乳パックを使ったりサイクル工作を紹介したところ、子どもたちは興味津々。ブックトークが終わった後、「これどうやって作るの？」「難しい？」と何人もの子どもたちに声をかけられました。工作自体は比較的簡単に出来る点と、ブックトークで紹介した本を含めて40冊を各クラスに貸し出す点を伝えると、「工作を作ってみる」「続きが気になってるから、早く読みたい」と笑顔で言ってもらえたのが、大変嬉しかったです。



★ブックトークで紹介した本★

- ① 「いたずらおばけ」 <M> 『世界のむかしばなし』より 瀬田貞二/訳 太田大八/絵 のら書店
- ② 『どうぶつのあしがたずかん』 <48> 加藤由子/文 ヒサクニヒコ/絵 他 岩崎書店
- ③ 『パンのかけらとちいさなあくま』 <M> 内田莉莎子/再話 堀内誠一/画 福音館書店
- ④ 『牛乳パックであそぼう』 <75> 猶原通正/著 井出圭祐/イラスト 草土文化
- ⑤ 『ワビシーネ農場のふしぎなガチョウ』 <Fキ>

ディック・キング=スミス/作 三原泉/絵 あすなる書房

※林小学校は④『牛乳パックの実験』 <75> 化学読物研究会/編 藤田ひおこ/絵 さ・え・ら書房 を紹介しました。工作の内容は同じです。



図書館スタッフの オススメ本

それを読むたび思い出す



三宅 香帆／著 青土社 請求記号 914.6/ミ

1994年生まれの本屋評論家による、全編書下ろしの自伝的エッセイ集です。

「地元」「京都」「読書」の三部構成になっており、「地元」では高知県での幼少期の話、大学時代を過ごした「京都」の話、「読書」にまつわる思い出話などそれぞれ面白おかしく綴られています。どの話のなかにも“本”が出てくるので、まさしく“本とともに生きる”が詰まった内容です。

書評家と聞くと堅苦しそうなイメージがありますが、地元との距離感や他人との温度差について、高校時代の進路話など自分にもあったなあと共感できることも多く、読んでいて自分の幼少期や学生時代のことを思い出せる一冊です。

ユニークな視点と瑞々しい文体で、特に若い読者から大きな支持を得ている著者の初エッセイ集なので、気になる方はぜひ読んでみてください。

おとぎカンパニー

田丸 雅智／著 光文社 請求記号 913.6/タ

この本に収録されている「同期で一番」をかいつまんで紹介します。

「鏡よ鏡、同期で一番仕事ができるのは、だあれ？」

新入社員の女性は、偶然会社で見つけた鏡に向かって尋ねます。

「同期で一番仕事ができる・・・それはあなた」

自分が一番だと褒める鏡の言葉に満足する女性。しかしある日を境に、鏡の言葉が変わります。

「同期で一番仕事ができる・・・それは白石美雪」

同期の活躍に嫉妬した女性は、リンゴ風味のある物を使って白石美雪の活躍を妨害します・・・。

お気づきかと思いますが、この「同期で一番」は童話『白雪姫』が元となっています。慣れ親しんだ『白雪姫』が見事に現代風にアレンジされているので、短編でありながら読みごたえがあります。他にもこの『おとぎカンパニー』は有名な世界の童話が原作となったお話が全部で14編収録されています。また同タイトルの【日本むかし話編】【妖怪編】【モンスター編】もおススメです。



☆☆☆狭山ヶ丘分館 臨時休館のお知らせ☆☆☆

狭山ヶ丘コミュニティーセンターの定期清掃に伴い、狭山ヶ丘分館も下記の通り休館を予定しております。

2022年7月18日(月・祝) ※7月19日(火) 休館日

ご不便をおかけしますが、ご理解・ご協力お願いいたします。

